

労働保険事務  
組合へ加入で  
経費の節約を

# 社団法人 大森工場協会 会報

第 11 号  
昭和 61 年 1 月 1 日  
発行 社団法人 大森工場協会  
編集委員会  
東京都大田区中央2-11-10  
TEL. 03 (771) 4744・(772) 6474  
印刷 城南印刷工芸(株)  
TEL. 03 (752) 3 3 9 1

## 進もう飛躍を期して

□□□ スクラム組んで80年代後半へ □□□

社団法人 大森工場協会 会長 上 杉 貝 助



(写真提供 木村副会長)



大森工場協会会員の皆様  
新年おめでとうございませ  
う。昨年は本会に對しまして絶大な  
御協力御支援を賜り、御蔭様で計

協会の発展は  
会員増強から

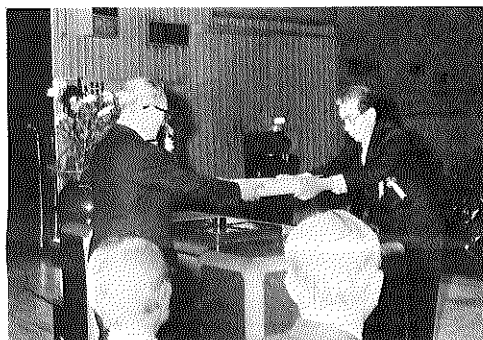
画した諸事業が概ね成功裡に終了  
致しましたことにつき、役員一同  
より厚く御礼申し上げます。  
さて、61年は前年に引き続き、  
会の発展と、直接、間接或は多少

に拘らず会員のお役に立つ事を強  
力に進めたいと思っております。  
年頭にあたり、次の項目を挙げ、  
役員一同最善の努力を致します。  
会員の皆様の御理解と御協力を  
切に御願ひ申し上げます。  
一、従来行った事業で効果ある  
ものは重点的に推進するこ  
と。  
二、協会の会報は57年7月の創  
刊号から本年1月の第11号  
に及びましたが、非常に充  
実した内容で多面的なメリ  
ットがあります。  
発行部数の増加を必要とす  
る状態をつくり出すならば  
一層効果的だと思われませ  
う。  
三、会員の増強  
当会の如き団体では会員の  
確保と増強が基礎的の要件で  
ありますから、役員会に諮  
つて可及的速やかに方策を  
たてたいと思存じます。  
以上、乱筆、乱文で失礼ですが  
御挨拶に代えさせていただきます。

事務局たより  
●催し物のお知らせ  
(昭和61年)  
新春賀詞交歓会  
(協会主催)  
1月28日(開催)  
(昨年末既報)  
○記念講演 (PM 5・  
30 / 6・45) テーマ  
「経営と人相」講師  
経営コンサルタント 大谷 巖先  
生(会場)大田区民会館(第3、4  
集会室) ★講演終了後会場移動。  
○懇親パーティ (PM 7 / 8・30)  
(会場) 区立池上会館「白梅の間、  
紅梅の間」  
○申込み切日 1月14日  
○会費 7000円 お申込みと  
共にご便宜な方法(銀行振込、郵  
送等)で事務局宛にお払込み下さ  
い。  
※ 銀行振込の場合(口座番号)  
★都民銀行大森支店  
(普) 0204767  
★三菱銀行大森支店  
(普) 4087498  
★第一勧銀大森支店  
(普) 1239843  
いづれも(社)大森工場協会名義  
尚、ご希望により集金にも伺い  
ますのでご連絡下さい。  
※ 講演会場とパーティ会場は隣

●所在地移転  
○榊長谷川鉄工所(11月22日)  
〒143 大森南2の1の20  
(旧)大森南5の6の4 電話並  
に所属支部は従来通りです。  
○アポロ通信工業(榊相模原事業所  
並に相模第1工場(12月9日)  
〒228 相模原市上鶴間791  
電話0427(44)2365代  
尚、従来の相模原工場(上鶴間  
15)は相模第2工場になりました。  
○(榊)明王化成(1月6日)  
〒146 仲池上1の21の23 電話  
(755)4711 FAX(7  
55)4644 所属支部は第10  
支部に変わりました。  
(旧)中馬込2の5の10  
●東商大田支部人事  
東京商工会議所大田支部ではこ  
のほど、渡辺礼之支部長が勇退さ  
れて顧問となり、後任には当協会  
第10支部長 中西真彦氏(日本弁  
管工業(株)社長)が就任されました。

11月23日(勤労感謝の日) 大  
田区民会館において、恒例の表彰  
式典を大田区、大田工連ならびに  
工連加盟団体と共同で挙げる。  
当協会の本年度の被表彰者は、  
勤続10年以上27名(内 女子5名)、  
同5年以上35名(内 女子14名)  
計62名で、表彰状ならびに記念品  
が贈られました。  
代表10年以上東海塗装(榊原田富雄  
氏) 5年以上(榊)イダ 高玉重子



### 優良従業員 表彰式挙行

10年以上 27名  
5年以上 35名

なお、東商では11月29日より支  
部長の名称を「会長」に改めまし  
た。  
●計 報  
ご冥福をお祈りいたします。  
水川 政雄殿(当協会相談役・  
第2代会長・榊大森工業会館初  
代社長・大森工業協同組合初代  
理事長) 11月19日 94才  
(吉村事務局長義父)  
小野寺栄一殿(榊小野寺製作所  
社長) 11月26日 83才 (第  
8支部所属) 中央7丁目

## 謹 賀 新 年 社団法人 大森工場協会

- |    |        |       |       |       |     |       |       |       |     |        |       |       |    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |          |      |    |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |        |       |
|----|--------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|------|----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 顧問 | 安倉 義三郎 | 小島 康昭 | 高田 良昭 | 千代 義雄 | 相談役 | 古川 利夫 | 梅田 義夫 | 上杉 貝助 | 副会長 | 入山 英太郎 | 片山 光友 | 高木 吉男 | 理事 | 鈴木 一八 | 米澤 昌平 | 伊勢 治郎 | 大塚 和夫 | 吉田 彰一 | 遠藤 光吾 | 中道 芳光 | 大崎 義夫 | 助川 正和 | YMクラブ幹事長 | 丸山 旭 | 監事 | 尾川 義明 | 古川 徳治 | 第一支部長 | 高正 仁衛門 | 第二支部長 | 近藤 幸平 | 第三支部長 | 山野 邦雄 | 第四支部長 | 柳谷 恒雄 | 第五支部長 | 久我 正剛 | 第六支部長 | 山沢 澄夫 | 第七支部長 | 渡辺 正成 | 第八支部長 | 小泉 正英 | 第九支部長 | 上原 行康 | 第十支部長 | 中西 眞彦 | 第十一支部長 | 川又 行彦 | 第十二支部長 | 伊勢 養治 |
|----|--------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|------|----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|

# 異業種交流で 新分野に挑戦

## 中小企業の技術が生きる時代

### 厳しい時代に厳しい対応を

株式会社車田製作所社長

車田昌一

お歴々を前にしてお話出来る柄ではないが私なりに纏めてみました。多分に独断と偏見によるものであり、サラリと聞き流して頂きたい。

#### ★労働時間と工賃の問題

「日本人は働き過ぎる」といわれている。欧州諸国は年間一六〇〇時間だが、日本は二〇〇〇〜二二〇〇時間も働く。但し二〇〇〇時間は大手企業であり、我々の場合は一般的にみて一月二〇〇時間、年間で二四〇〇時間、休日、休暇等を差引き二一六〇時間位にはなっていると思う。完全週休二日制になると約一八〇〇時間位になり、仮に年俸四〇〇万円の人に当てはめると一時間当りの賃金は二二二二円、それに有給休暇その他の諸手当を加えると零細企業では、現段階の工賃ではやっていけない数字が出る筈だ。

その解決策としては、低賃金の労働者又はパートを使用するか生産の無人化を考えるしか無いだろう。

大手企業でさえ、人員の削減を凶らざるを得なくなっている。

現に私共のユーザーではパートの年配の女性が旋盤を使っており、結構間に合っている。又、NC等の機械も昼間は工程数の少ない物、夜間は工程数の多い物を区別しながらやっており、しかも夜間の作業は守衛が巡回することで事足りている。では弱小企業が同じ様な計画をした場合にはどうするか？

まず、仕事量の確保が問題である。

私の会社のMCは大体、一ヶ月二〇〇時間位稼働しているが、親会社のそれは四〇〇時間以上動いている。かつて大手企業は大々的に外注を利用

種があり、大手ばかりがユーザーではない。小さいなりに自分の持つ持っている技術と設備を生かして、機械屋だから鉄ばかり削ってはいればよいとの旧態依然の観念から歩を進めて新しい分野に目を向けることが必要であろう。最近、異業種交流という言葉が巷間飛び交っているが、仲間を増やして生き抜くこと。少なくとも生き抜く希望を持たねばならないと思う。

問 機械設備は、性能改良の進歩が早いので交換出来るリースが有利ではないか？

答 稼働時間が少なかったり、工賃が競合で安くならば、当然売上げが伸びず、リース代の支払いが先に立つことになる。買取りの場合は遊休機械になったとしても、支払いに追われることがないのでそれ程苦にならないし、場合によっては処分も出来る。どちらの方法が有利であるかは、夫々の企業の方針や内容等によって見方が分かれるだろう。

要は仕事量の確保と適正工賃の維持が大きな問題点であると思う。



総司会

副会長 片山光太郎

(第一光機株式会社社長)

会員の皆様、明けましてお目出度うござります。

激動の80年代後半を迎え、各々会社発展の構想を、お立ての事と思いますが、本日は、会員企業の社長3氏にお願いし、それぞれの生き方、考え方を、話していただきました。

21世紀を目指し、頑張つてゆきましょう。

# おめでとうございます。



昭和6年、先代社長により大森七丁目（現在の森中）で創業、現在に至っているが、社長を継いで約20年、余りにも中小企業に対する変化が大きく、先行きの不安を感じ、一時大分迷った。

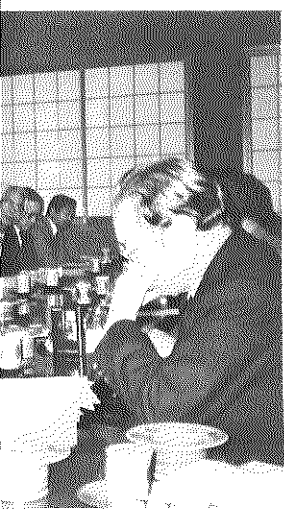
まず後継者の問題で、適任者が居なければ自分の代で、事業閉鎖も考えた。理由としては、歴史が古ければそれなりに古い職人が沢山いる。従って賃金が高い。しかし高い割に生産は上らない。大森工場の平均年齢は最終的には約40人位で52才位だった。若い人は入って来ないし、高令者ばかりでは先の望みは全くない。単価の問題もあるが、年々利益率は落ちり食になる。



辛い件が続くことになったので、それならばやっつけていくにはどうすれば良いか考えた。

現在地は住宅地域であり、特に夜間の作業（大型プレス）が出来ない。昔からの仕事とはいえず、時以降は殆んど出来ないのが現状。周囲が自分の持家、道路及び墓地で、苦情があることはなかったが、残業には気がひけた。

そこで、周囲の環境と弱年労働者を集められる可能性のある場所への転出を考えた。単に地方といっても、大企業の所在地付近では先程の車田氏の話の様に人集めは不可能。例えば栃木県の鹿沼、大きな工業団地が2つあるので先ず無理だと思いつく。近くの今市市に当りをつけてみた。街中では駄目だがチョッと離れた所ならば人集めも可能ではないかと考え、3年前に森ヶ崎工場を移して様子を見た。その結果、弱年労働者の応募数が必要人数を上廻る程で、ある程度条件に合わせて選択出来た。



## メーカーとの新しい 関係を模索中

### 千葉一部移転計画で

### 公害問題解決

幸栄精機株式会社社長

吉田 彰

問 気象条件について

答 寒中になれば大分違うが、その他は余り変らない。落雷の問題も昔と違って、電柱の上に避雷針が立って居り、音は凄いが特に心配はないと思う。

問 工場移動と人事問題について

答 無理に全員の移動は考えず、むしろ若返りの為には高令者の退職も止むを得ないと思つて居り、実際に経験者の殆んどが退社した。前社長の代からの人達であり忍び難い気持もあつたが企業である以上、思い切つた。年令層も高かつたが、ヤル気がある者には職場を斡旋した。

尚、技能者が急に居なくなれば苦勞すると思ひ、3年前移転を始めた時から少しづつ人員を移し現地募集の者の教育に当てれば何とか役に立つ様になるとの計算もあり、概ね見込通り進行中。

問 移動後の業績について

答 殆んど毎日往復（本社と倉庫・試作工場が大森にある為）しているので、輸送費は月に約100万円かかる。但し電気代が移転前は両方（大森と今市）で30万近く払つていたものが（電気炉を使うので電気代がかさむ）大森は僅か、今市工場もそれ程電力の消費量が増えないので、150万〜160万位で済む様になった。結果として思い切つて一ヶ所に纏めたことは良かったと思う。

時間切れになるので、三番目の私は発表しなくてもいいよと言われていたのですが（笑）

大先輩を前にして経営観などという事を申し上げる立場ではないのですが、私がいままで困った事やらねばならぬ事を発表しましてご意見をいただければと思います。

大森に敷地100坪、木造2階建、従業員15人でプレスと金型をやっています。

主にトランス・カバを製作していますが、40

手間のかかるものを短期で外注するようになってきた。経費の削減を図るとすれば、こうせざるを得ないだろうし、すべてがそうだとはいえないが、益々条件が厳しくなってきたことは事実であり、受注するにしても多種少量で、技術的に難しい非標準的な品物を受け持つしか無いのではないか？

★立地条件

弱小企業は環境に左右される。我々の場合、地域によっては住宅やアパート等に囲まれて、午後7時以降は機械を動かすだけでも気が重い。特に音や震動の大きな打ち抜きや切削の作業は絶対に出来ないだろう。



地方に転出するとしても土地の確保はともかくとして、人が集まらないし、求ても程度が低い。しかも近くに大手の工場が来ればすぐ動いてしまう。地方転出も儲からないのが実情だ。

★設備機械の充実

前述の問題点から考えると、結局設備機械の無人化、省力化に重点を置くことになるだろう。NC、MC機械購入には当然かなりの費用がかかる。自己資金があれば別だが、借入金、リースいずれかならば私は借入金による買い取りが良いと思う。何故ならば業績があがれば早期返済（借入金の）出来るし、逆の場合には機械の処分も可能だが、リースでは契約解除には色々制約があるし、資産にならないので万一の場合にも処分は出来ない。勿論、充分機能を果せば問題はないのだが現在の状況からみて動きがとれなくなるおそれがあるので、私は買い取りの方法をとっているのだが。

★未来に希望を持って

今までの話を逆に見ると、我々には夢も希望も無さそうだが、そんなことはない。大手企業が無人化、省力化をすればする程、技能者が不足してくる。又、中小企業にも色々な業



理事支部長研修会



新春

サバイバル作戦

—意見発表者—

- 三力工業株式会社 社長 入 沢 英 友
- 株式会社車田製作所 社長 車 田 昌 一
- 幸栄精機株式会社 社長 吉 田 彰

会員の皆様明けて

工場移転とその経過  
好結果を生んだ  
今市移転  
← 現在が未来の出発点 →

三力工業株式会社社長  
入 沢 英 友

今日のテーマは余りにも大き過ぎるので、私個人現在の経過の一端を紹介することで、何かの参考にして頂けたらと思う。



未知で全くルートの無い場所が不安だったが、構人も集まり、大工場が近くになければ何とかいけるとの判断のもとに本年工場全部を移した。但し、現地採用者の中にはいわゆる技能者は少なく、殆んどが近くの農家の普通高校出の子供達だ。私のところは、仕事の性質上、抜き屑が大量に出る。東京では、その置き場に困るが地方ならその場所も充分確保出来る（土地が安いので）。土地は3000坪確保。ただ栃木県は尾尾鋼山の関係で、公害に対しては敏感で（特に化学薬品について）造成には充分注意が必要（下水処理）。現在50人位稼働している。

ロボット化には多額の資金が必要なので、いまだに人海戦術的にやっている。

大森当時と現在の売上げの比較はどうか。一番の心配事だった。素人を集めて、約10人の技術者で果して満足に仕事が出来るか？

現在漸くタイになった。若い人は延びが早いから、これからどうにかやって行ける見通しがついた。得意先の要求に依る為に深夜業、場合によっては徹夜作業もしている。下請けの、技術的な問題もあり、今後地元の工場とも充分研究し合っていきたいと思う。

いずれにしろ、企業は利益を上げることが目的である以上、大いに工夫すべきだ。

問 地価について

(答) 今市でも街中は高い(20数万はサラにある)が、15分位(車で)離れると九ツキり安くなる様だ。坪3万位の所もあり、探せばまだまだ土地はある。東京の土地を処分して買い換える場合には桁違いに広い場所が手に入るだろう。但し少しばかりの面積では売らない。大体1000坪位が単位の様だ。

現在弱電関係は厳しく、騒音等の問題と共に苦慮しています。

今迄は良い品を安く早くユーザーから言われてきたが、良い安いは常識で現在は早くだけを要求されている。その為には優秀な機械を多く購入し、早く作ればいいじゃないかと言われてもプレス品の単品加工だけではなく、挽き物等二次



加工の仕事が多くなり従って人件費もふえ、売り上げは変わらないが利益が圧迫されている。

最近では金型設備を備えたプレス屋がふえ、プレス代金さえ貰えば型代はいらないという営業の仕方なので、型代もとれなくなっている。更に順送金型の普及で、多工程の仕事が一工程で出来る様になった為、メーカーからも一工程分の工賃しか貰えなくなってきた現状です。

公害(騒音と振動)問題で地域に迷惑をかけてきたが、この程千葉に土地を確保し、現工場は維持しながら、公害問題の起る設備は千葉に移転しようという計画を進めている。

今日は、入沢、車田両先輩から貴重なお話を伺い、今後の私にとって大変参考になりました。これからメーカーは更に内政化を進めていくのではないのでしょうか。その時、我々零細企業が生き残る為の対策と関り合いを考えていかなければいけないと思います。これ等の問題について、さらに、皆様からのご助言とご意見をいただければ幸に存じます。

問 外注依存40%を増やしては?

(答) 納期に間に合わせる為に止むを得ず外注を使うわけで、受注単価より外注費が多くなる(外注費は変らぬが受注単価が安くなる為)ので外注量は増やせない。昔の様に外注で利鞘を稼ぐどころか、工賃の立替え払いをすることにもなるので得策ではない。

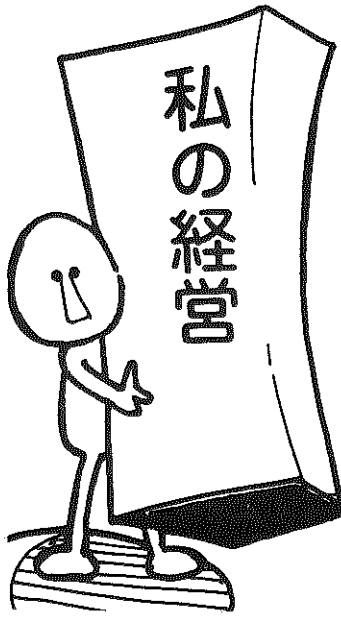
# 流通分野に進出

## レーザー加工機導入で 経営は新段階へ

# アンテナ・ショップで 未来を先取

アルマイト加工に30年の実績を持つ(有)矢澤アルマイト。その矢澤アルマイトの機械加工部門より発足し、現在FA機器及びレーザー機械の販売、レーザー加工・板金加工・機械加工・組立。FA関連機器、レーザー関連機器の組立と業績を伸ばしている王陽株式会社。この両社を統轄されている矢澤榮伍社長を11月28日に竣工式を挙げられたばかりの王陽(株) (大田区南蒲田3-1-6)の新社屋にお訪ねし、お話を伺った。

●レーザー加工機  
レーザー光線により、鉄、ステンレス、樹脂、セラミックなど、あらゆる材料を高精度に切断加工するシステム。加工形状はCNC装置によりコントロールされ、複雑形状でも金型等を必要とせず即座に切断加工できる。



(有)矢澤アルマイト 王陽株式会社 代表取締役 矢澤 榮伍

今回は新社屋を完成し、新鋭機を導入して新しい事業に立ち向かうとして、矢澤の現状と方針を中心に取りまとめてみた。

王陽は46年に矢澤アルマイトのプレス部門として発足。58年に分離独立。アルマイト加工に付随したプレスで出発し、板金・組立と仕事の量と巾を増してきた。

しかし、この数年來、アルミからプラスチックに変わる素材革命、総需要は増加しても大手企業による蚕食で、仕事が減少するという中小アルミ業界の状況により危機感を持ち、レーザー機器の導入により新しい進展を目指している。

今後は新社屋を完成し、新鋭機を導入して新しい事業に立ち向かうとして、矢澤の現状と方針を中心に取りまとめてみた。

王陽は46年に矢澤アルマイトのプレス部門として発足。58年に分離独立。アルマイト加工に付随したプレスで出発し、板金・組立と仕事の量と巾を増してきた。

しかし、この数年來、アルミからプラスチックに変わる素材革命、総需要は増加しても大手企業による蚕食で、仕事が減少するという中小アルミ業界の状況により危機感を持ち、レーザー機器の導入により新しい進展を目指している。

王陽はFA関連の機器の開発・製造・販売を通して社会に奉仕する。

社是に掲げられた通り王陽は環八通りに面しているという立地条件を活かし(前号でも取り上げたように、羽田空港の延伸問題に絡み種々の交通網が整備され、大田区に新しい流通の波が押し寄せる)と予想される。矢澤社長の若々しい感性で、ただ単に新工場を作るというのではなく、工場にも付加価値を与える作り方をしている。

その一つは、新鋭のレーザーマシンを取り入れる事により、メーカー・営業代理店と相和して、工場をガラス張りにしてのショールーム。また他の機械も一社でライン・アップさせモデル工場も兼ねさせている。「賃加工業から脱却するためにも、流通の分野に参入し、京浜工業地帯に在るといふ地の利を活かし、FA化の波に乗り、販売活動を通して得た情報により、大きな方向づけをしていく」

高い値段で高級料理を味わうのも美食家なら、相応の値段でより良い店を見つかるのも、食通の楽しみであろう。

そんな食通の諸兄に紹介したい店、それがそば処「満留賀」である。伝統ある大衆の味を大切に、その中で二八ソバとか、十割ソバとかの流行にとらわれず、ご主人みずからの手打ちで、夏はサツパ



好きな店  
するがや通り  
満留賀



株式会社 ワタナベ 代表取締役 渡邊 正成

変わる昨今、受け持ちを決め同一の味を心掛けていたので、いつも変らぬ「満留賀の味」。良心的な店である。

PTA・町会・ゲートボールクラブ等の集会場としてもよく利用され、奥さん同伴のカラオケ大会の場にもよし、宴会場としてもご自慢の揚げ出し天婦羅・刺身・鍋物・家庭料理と品揃いも豊富で、藤田弓子似の(写真参照)明るい奥さんのリードで雰囲気も最高である。

- 住所 大森東2-5-19
- 時間 AM 11:00 - PM 9:00
- 休日 月曜
- 席数 70人

同じ店でもその日によって、濃い・薄い、美味しい・不味いと味の逸手を抜けた事により、より正確な顧客のニーズ、流通機構の知識が得られる、その蓄えにより王陽を次なる飛躍にむかわせようとしている。

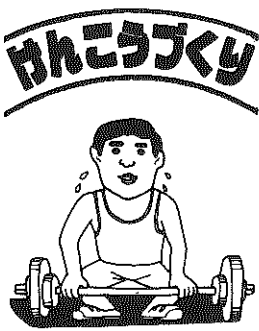
王陽は顧客・社員・仕入三者の和を持って相互の利益を向上せしめる。

新工場が落成して幾許もないが大企業・中小企業の見学者も多く、新鋭機の導入は社員にも刺激を与えやる気を起こさせている。

新しい歩みで61年に向かわれる矢澤社長のご趣味はワンダー・フオーゲル。

何物にも優る宝、それは心身の健やかさでありましょう。この大切な宝を親から授けられた事をまず感謝しております。

齢六十の半ばにさしか、りましてが、病氣らしいものは全く無く



健康にはすこぶる恵まれておりますので、特別の健康法はありません。ただ、心掛けている事は規則正しい生活。これは私の全ての基本であります。

次に暴飲暴食を避ける。くよくよしない。足腰の鍛錬。その一環

としてゴルフは長い年月続けてきました。

又、カメラを提げて足の向くまま、気の向くままに野山を歩き廻



カメラと共に 自然探訪が妙薬  
山形製作所 代表取締役 小林 忠

これは若い頃から続いており、週日張りつめた時間に追いかけて私にとつて、四季折々に移り変わる自然の風物に接

日頃の労苦を忘れさせてくれる最高の妙薬であります。

ゴルフの仲間、カメラの仲間、皆それぞれに若い友人が多勢居り、

この付合ひのなかで、自分もこの人達と同年輩の様な気分になり、時には腕前を競い合う事も次への期待感がふくらみます。

この様にして趣味と足腰の鍛錬を兼ね、自然探訪によるアルバムを重ねながら、老いの心はサラリとかわして、実年の名に相応しく充実した日々を送りたいと心掛けております。

## 原稿募集

会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。ご意見、ご希望などの他、思いついた話、処生訓、趣味に至るまで特に分野は問いません。1行15字で45行程度(本文のみ)に収めて頂ければ結構です。

## 肩の張らない 大人の世界

— 気心知れた仲間達 —  
(YMクラブ)

(有)中村製作所 取締役 中村 国吉

私は子供が生まれたとほぼ同時にYMクラブに入り、子供の成長と共に過ごしてきましたが、彼等子供達が自己自身成長したなどと意識しないのと同じ様に、私も

改めてYMクラブの会員として振り返れば、漫然と過ごしてきた故か、その様な意識を持つたり自覚が無かったと思えます。しかしながら今だに会合に顔を出していること自体が無意識のうち私に私の生きた人生に、私の思考や肉体になつて影響しているのではなからうかと思ふこともあります。

又、精神的には煙草好きの煙草吸いが、その当初、興味本位に手にしたであらう煙草でむせたり咳込んだりしながら、いつの間にか手離せず、間遠くなれば口中寂しく、精神落ち着かず、直ぐに手にする様に、しばしば私も無沙汰しているYMクラブに同様の感慨を持つ事があります。

その昔、腕白共が野や林に、真

座や遊や木ツ葉で作った少年達の社交場。そこへ行く気心の知れた仲間が居て、アメ玉や駄菓子や頬張りながら、漫画を見たりジャレあつたり、それに飽きると、相撲や野球に興じる。

その様な子供の世界を大人の世界に置き換え、大人社会の規範をもって運営し、催し、漫画が実務書や経済・経営書に、又、アメ玉が茶菓子・アルコールに変わる事もあり、情報交換の場にもなるYMクラブ。今年も、ヤングな男達が集う会と自負している私に、ヤングに負けそうな会と揶揄する子供達の声を背に、口中一杯にアメ玉を含み、流行の最新の漫画を見せて貰い、その講釈を聴くためにYMクラブの会合に、ノコノコ出掛ける次第です。